

# 岡崎市中央図書館集中アクセス事件とは

2010年、岡山市立図書館の蔵書システムにアクセス障害が生じ利用者の男性が逮捕された事件である。



# この事件の問題点

この図書館は三菱電機インフォメーションシステムズ（MDIS）製の旧版の蔵書検索ソフトウェアを使っており、事件直後の調査でこのソフトウェアの不具合が原因であることが分かった。旧版のソフトウェアを使っていた他の図書館でも同様の障害が生じていたが、MDISはこの図書館に報告していなかった。

逮捕された男性には図書館を攻撃しようとした意図はなく、違法の操作もしていなかった。

このことから本当に男性を逮捕すべきだったのかが疑問視されている。

## この問題の教訓

この事件からは逮捕された男性側にも図書館側にも非がないということもできる。

男性のように情報技術をうまく活用していても状況によっては訴えられてしまうことがある。

図書館側は問題がないと思ったまま旧版のソフトウェアを使っていたが、やはり最新版でないと不具合が生じてしまうということを気に留めておかないといけない。